総務厚生常任委員協議会　8月26日

2つの小学校で複式学級が目前に

「これからの学校教育のあり方をふまえた小・中学校の配置計画の検証」について説明を受けた。

【背景と概要】

蚕桑小学校は令和10年度、東根小学校は令和12年度から複式学級が想定されている。現行の学校配置計画が15年経過し、人口減少のほか地域のあり方、学習環境等、社会情勢が大きく変化しており、学校教育のあり方が実情に合っているのか検証を進める。

【検証の進め方】

①保護者、学校、地域等からの意見聴取
・保護者等アンケート
・4学校区で保護者、地域の方を参加対象に意見交換会
②検討委員会を設置し、意見を踏まえて協議

《委員構成》
・学校保護者代表
・保育園等保護者代表
・各小学校区地域代表
・有識者等

【今後の進め方】

10月・検討委員会開始
　・保護者アンケート
11月・意見交換会(保護者)
12月・意見交換会(地域)
2月・総合教育会議
　(検証結果の確認)
3月・議会と教育委員会に検証結果の報告



質疑

町民からの意見

竹田委員　**移動町長室ではどのような意見があったか。**

町長　少子化の中で統合に前向きな意見や、具体的に地区名を指定した学校の配置要望などもあった。

意見交換会

佐々木委員　**4校区での意見交換会は、保護者のほか地域の誰でも参加できるのか。**

当局　各代表者だけではなく、幅広く地域の方に参加いただきたいと考えている。

その他
○調理場空調設備等整備に係る今後の方向性について
など、説明があった

ふるさと森林公園再整備特別委員会　8月26日

調査の先に何が見えるか

「浴室棟構造体調査業務」について説明を受けた。

【概要】

再整備事業費が増える現状を踏まえ、町民保養センター機能（入浴施設）の維持・継続の視点から、浴室棟および本館棟を残した整備手法も含め検討する。

浴室棟は今年度で法定耐用年数を迎えることから、構造体の劣化状況を調査し、建物の現状を把握したうえで、整備手法や財源確保に向け事業内容を再検討する。

質疑

再整備の方向性は

丸川委員　**再整備の方向性決定はいつ頃か。**

当局　町民からさまざまな意見があり、調査後すぐに結論が出るとは限らず、全体の再整備には時間がかかる。

公園全体の整備は

笹原委員　**公園全体への整備の考えは。**

当局　町の観光全体という視点で幅広く考えていく。

現在の利用状況は

竹田委員　**宿泊の利用状況は。**

当局　宿泊は再開から7月末まで788人が利用し、想定以上の感触がある。

今後の事業は

今野委員　**今後の事業をどう考えるか。**

当局　健康増進など役割を踏まえ、財源も含め何が最善か検討し、町民に説明していく。

衣袋委員　**指定管理料への影響は。**

当局　温浴施設と公園管理に対する管理料であり、影響はない。

なぜ再調査か

関委員　**以前も老朽度調査をしている。なぜ再調査が必要か。**

当局　以前の調査では構造体など見えない部分は調査しておらず、詳しく調査する。

実施設計は白紙か

佐々木委員　**これまでの実施設計は白紙か。**

当局　宿泊棟などは部分ごとに生かせると考えている。浴室棟は今回の調査で使用できるか見極める。